

STAGE+を楽しむ(74)(HP 収載)  
—ムターのバースデー・コンサート—

1. 始めに

前報(73)に引き続き、STAGE+のアンネ=ゾフィー・ムター 祝 60 歳のバースデー・コンサートの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、アンネ=ゾフィー・ムター 祝 60 歳のバースデー・コンサートの演奏を選びました。

収録配信 2023 年 6 月 30 日 3:00

収録日 2023 年 4 月 26 日

アンネ=ゾフィー・ムター 祝 60 歳のバースデー・コンサート  
ウィーン楽友協会

1. 再配信 2023 年 6 月 30 日 9:00

2. 再配信 2023 年 6 月 30 日 20:00

60 歳の誕生日を迎えた“ヴァイオリンの女王”ことアンネ=ゾフィー・ムターによる、スペシャルなバースデー・コンサートを楽友協会からお届けします。“女王”が厳選した名手たちが、その多才さを披露するプログラムはヴィヴァルディとバッハの協奏曲から、プレヴィンが書いた 2 つのクアルテットとコントラバスのためのノネット、そして伝記映画『Chevalier (シュヴァリエ) ※原題』によって注目を集めた、王妃マリー・アントワネットの寵愛を受けた (アフリカ系の母親を持つ) 作曲家ジョゼフ・ブローニュの作品まで、意欲的なラインナップ。弦楽アンサンブルの醍醐味をたっぷり味わっていただける内容です。

ソリスト:

アンネ=ゾフィー・ムター (ヴァイオリン)

アンサンブル:

ムターズ・ヴィルトゥオージ

曲目:

アントニオ・ヴィヴァルディ 3 つのヴァイオリンのための協奏曲へ長調 RV 551

ヨハン・セバスティアン・バッハ ヴァイオリン協奏曲イ短調 BWV 1041

アンドレ・プレヴィン ノネット

ヨハン・セバスティアン・バッハ

ブランデンブルク協奏曲第 3 番ト長調 BWV 1048

ジョゼフ・ブローニュ ヴァイオリン協奏曲イ長調 op. 5-2

アントニオ・ヴィヴァルディ ヴァイオリン協奏曲ト短調 op. 8-2 《夏》

ジョン・ウィリアムズ

『シンデレラ・リバティーかぎりなき愛』より 〈Nice to Be Around〉

(ムターズ・ヴィルトゥオージのための編曲版)

ジョン・ウィリアムズ 『シンドラーのリスト』のテーマ

(ムターズ・ヴィルトゥオージのための編曲版)



### 3. 試聴の経過

LAN iSilencer の導入(8)と LAN iSilencer の導入(9)の結果から 1 個目の LAN iSilencer はルーターの LAN 端子の空きポートにセットし、もう 1 個はスイッチングハブから PC の信号ラインに使用しています。

2023 年 4 月の収録で 2023 年 6 月の収録配信、2023 年 6 月のアーカイブ公開でした。

上記の条件下で 2023 年 6 月 30 日 9:00 の再配信とアーカイブを試聴しました。

バッハのヴァイオリン協奏曲イ短調 とバッハのブランデンブルク協奏曲第 3 番はお馴染みの曲ですが、その他は初めて聴くものです。

再配信も何とか受信でき、前半の 3 曲を聴きました。

ヴィヴァルディの 3 つのヴァイオリンのための協奏曲へ長調 は、ムターを中心に 3 つのヴァイオリンのソロです。

バッハのヴァイオリン協奏曲イ短調は、お馴染みの曲で、ムターのソロの協奏曲です。

プレヴィンのノネットは、初めて聴くもので、9 人の弦楽奏者による 9 重奏の現代曲であり、ムターのヴァイオリンとコントラバスの対話などの聴かせどころがありました。

後半の 5 曲は、後日公開されたアーカイブで試聴しました。

バッハのブランデンブルク協奏曲第3番ト長調は、前報(69)でアーノンクール、前報(70)でリヒターの演奏を聴いたばかりですが、これらの伝統的な解釈とは異なり、自由な今風の演奏スタイルです。

ブローニュのヴァイオリン協奏曲イ長調は、初めて聴くものです。ブローニュは、ジョゼフ・ブローニュ・シュヴァリエ・ド・サン＝ジョルジュとも称し、18世紀の作曲家だそうで、ハイドンやモーツァルトにも通ずるような優雅で優しい表情を描いています。

ヴィヴァルディのヴァイオリン協奏曲ト短調《夏》は、お馴染みの四季の曲、ウィリアムズの『シンデレラ・リパティエ/かぎりなき愛』より〈Nice to Be Around〉と『シンドラーのリスト』のテーマは、アンコール曲のようです。

アンサンブルのムターズ・ヴィルトゥオージは、チェンバロの他小編成の弦楽アンサンブルで、ムターのソロもアンサンブルも弦の艶っぽい音で、通像低音もクリアーに響いています。



#### 4. まとめ

以上の STAGE+配信は、追加の LAN iSilencer の効果も加わって、ムターとムターズ・ヴィルトゥオージのアンサンブルのウィーン楽友協会大ホールにおける弦の艶っぽい音が再現されていました。

以上